

営業の概況

決算の概要(連結・単体)

■ 連結・単体ともに増収増益。

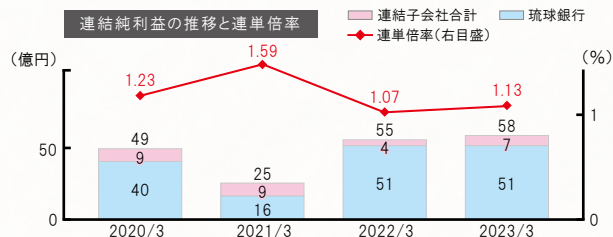
(億円)

連 結	2023年3月期		琉球銀行	琉球リース	リウコム (4か月間)	OCS	りゅうぎん ディーシー	りゅうぎん 保証	その他
	前年同期比								
経 常 収 益	600	30	407	155	15	18	18	7	▲22
経 常 利 益	84	5	72	5	1	0	3	6	▲4
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	58	3	51	3	0	0	2	4	▲4

* その他には内部消去等の他、りゅうぎんビジネスサービス(株)、(株)りゅうぎん総合研究所を含む

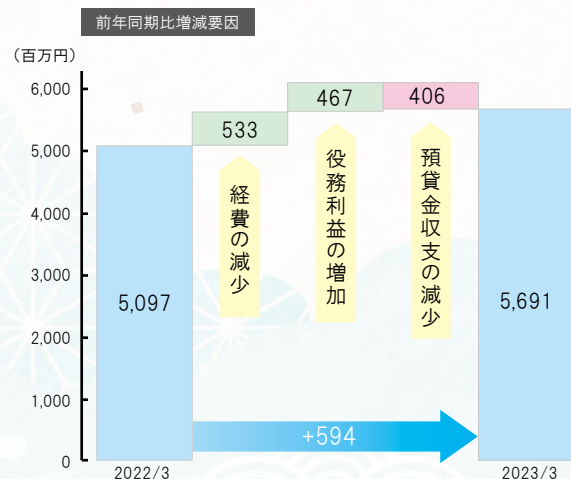
(億円)

単 体	2023年3月期		2022年3月期
	前年同期比		
経 常 収 益	407	20	386
経 常 利 益	72	2	69
当 期 純 利 益	51	▲0	51



顧客向けサービス利益(単体)

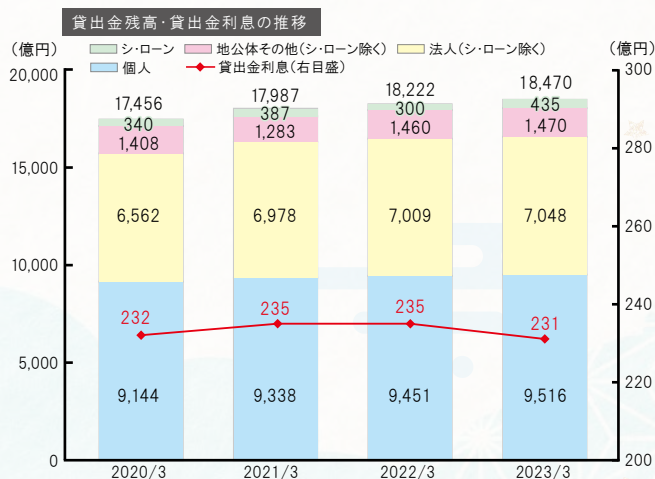
■ 預貸金収支は減少するも、経費の減少および役員利益の増加が、顧客向けサービス利益の増加を牽引。



* 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役員利益-経費
* 預貸金収支のうち、預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース

貸出金(単体)

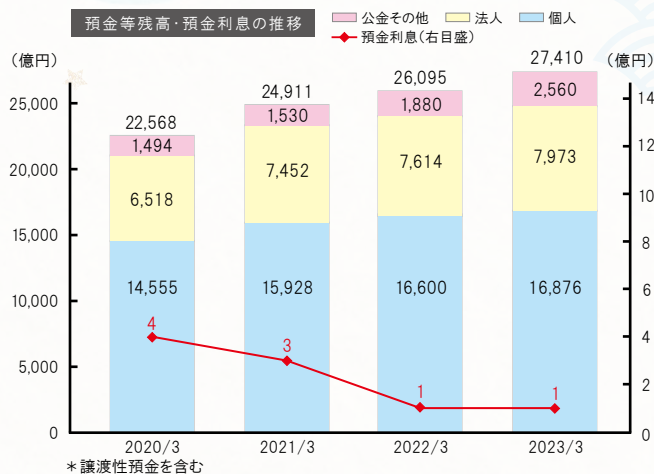
■ 貸出金残高は法人、個人ともに堅調に推移。一方、貸出金利回りの低下により、貸出金利息は減少。



* 貸出金利息については、ローン関係手数料(消費者ローン保証料、団体保険料)を控除

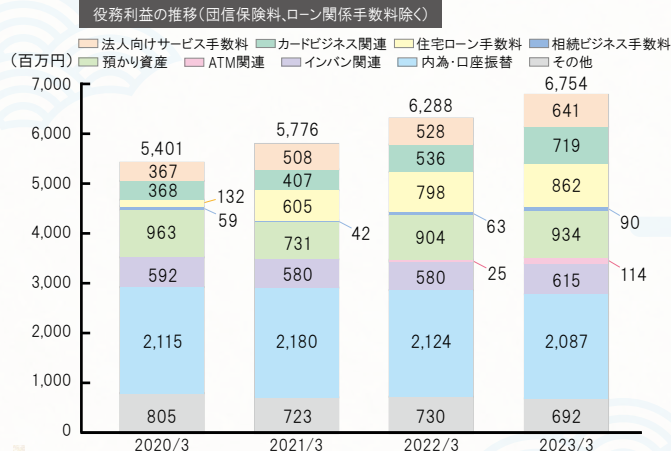
預金等(単体)

■ 預金等残高は法人預金および公金を中心に全人格で増加。



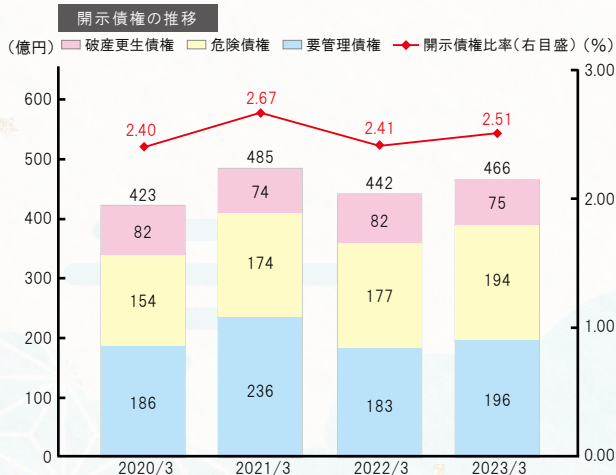
役務利益(単体)

■ カードビジネス関連手数料、法人向けサービス手数料、住宅ローン手数料等が役務利益の増加を牽引。



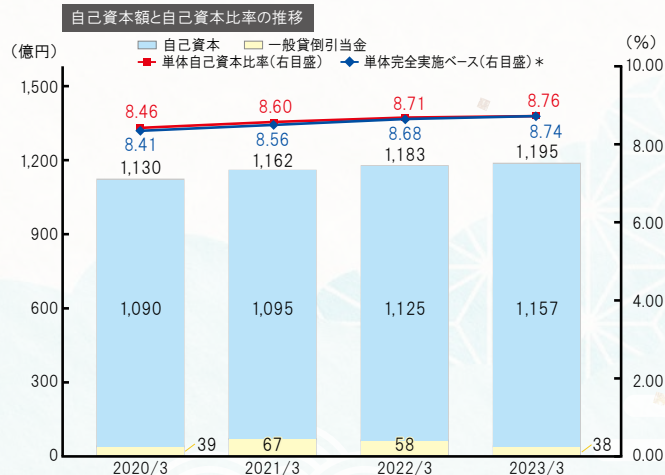
開示債権(単体)

■ 新型コロナの影響を受ける事業者への支援継続や、業況悪化先が増えたことより、要管理債権および危険債権が増加。



自己資本比率(単体)

■ 安定的な利益の積み上げ等により、自己資本比率は着実に上昇。



* 完全実施ベースは、現行の自己資本比率規制(パーセルⅢの最終化)が適用されることを想定し、劣後債および土地再評価差額金の資本算入額をゼロとし、無形固定資産および前払年金費用等を資本調整額として全額計上するベースで算出